

分科会参考資料：

## 【分科会第2部】⑤分科会：ケベック州における社会的連帯経済への融資の仕組み

### (1) 『インベストメント・ケベック』における経験」

○発表者：Ms.Dominique Chausse「インベストメント・ケベック（協同組合および社会経済事業の上級管理者）」

「インベストメント・ケベック」の使命は、ケベック州政府の政策にしたがって経済発展に寄与することである。

その具体的目的は、ケベック州のすべての地方において投資を通じ、雇用支援策を推進することだ。

この使命を実行するために、「インベストメント・ケベック」はそのパートナーと共に、融資や投資を通じて、すべての規模の企業の設立と開発を支援している。

こうして「インベストメント・ケベック」は、35年間以上にわたり、協同組合的な企業家精神を持つ事業の開発を支援してきた。

協同組合に対する融資の先駆者かつ専門家として、「インベストメント・ケベック」は、非営利事業に対しても支援を行っている。

### (2) 「ケベックにおける社会経済システムの発展」

○発表者：Ms.Marguerite Mendell（カール・ポランニー研究所・教授兼研究者 - コンコルディア大学）

「CAP ファイナンス」は、社会的経済と連帯融資を基盤とする金融機関のグループであり、「協同組織金融機関デジャルダン」が発足させた。「CAP ファイナンス」の特徴は、一般的な金融機関の補完機能を果たしている点と、社会的に責任ある投資事業に対して積極的である点にある。

こうした精神に基づき、「CAP ファイナンス」は、連帯的な開発事業の促進、専門家の育成、責任ある投資の促進を実施している。

### (3) 「アイデアを行動に移す：社会的経済シャンティエの融資方法」

○発表者：Mr.Jacques Charest「社会的経済シャンティエ」最高経営責任者

「社会的経済シャンティエ」は、社会経済企業(SEE)が資金調達できるように、2つの融資手段を開発した。1997年には、社会経済企業のための最初の「ベンチャーキャピタルファンド」が創設された。続いて、2006年には、短期的なリターンをあえて求めない「ペイシエントキャピタルファンド (patient capital fund)」の第一号が設立された。

「ベンチャーキャピタルファンド」は事業立ち上げ資金、資金調達、合併・事業拡大資金を提供する。「ペイシエントキャピタルファンド」は、事業活動と不動産投資を支援する。

こうした2つのファンドによって、社会経済企業の資金が増強された。

約20年にわたる融資活動によって、アイデアが現実化されたのである。

#### **(4) 「金銭に意味を与える人々の情熱」**

○発表者：Mr. Leopold Beaulieu 「全国労働組合連合（CSN）」最高経営責任者

20世紀当初から、「全国労働組合連合（CSN）」は、労働組合の活動を通して、社会を変革するという幅広いビジョンを抱いていた。1960年代の終わりには、(労働者の権利拡大に次ぐ)第2の正面戦略として、協同組合的な経済開発の建設に着手した。そのために様々な組織が形成され、その全てが、モンリオール、ケベック、そして世界の経済発展に影響を及ぼすような明確な業績を残している。

こうした組織はすべて、前向きで、さらに人間的経済を構築するという共通のビジョンを共有している。

#### **(5) 「連帯基金『FTQ』：繁栄の創造者」**

○発表者：Mr. Normand Belanger 「連帯基金『FTQ』」最高経営責任者

「連帯基金『FTQ』」、並びにケベックの社会経済開発に貢献する地域の基金は、労働者の貯蓄と年金によって成長してきた。あらゆる規模の事業に投資が行われることによって、労働者の職が生まれ、維持されてきたのである。

またこの基金を通して、労働者にトレーニングを行うことによって、労働者の合意が形成されてきた。

「FTQ」の不動産部門は、収益率の高い不動産事業に投資することによって、新たな仕事も作り出してきた。

こうした投資の一部は、コミュニティ活動に寄付されたり、低価格の住宅供給の資金にあてられることにより、社会の多様性と統合に寄与してきた。また、社会経済企業と協力して、低所得者層に住宅を提供し、生活の質を維持している。

### **【分科会第5部】⑥地域の再生における文化の役割**

#### **(1) 「芸術家のキャリアを支援し、コミュニティへの貢献を高める作業環境」**

○発言者：Mr. Marcel Baettig (イギリス・ロンドン「Bow arts」最高経営責任者)

様々な分野の芸術家、製作者、デザイナーに対して手頃な価格で作業スペースを提供することが、イースト・ロンドン地区で活動するチャリティ団体「Bow Arts」の役割である。「Bow Arts」はスタジオを運営するとともに、教育プログラムを実施し、現代芸術のギャラリーを開催している。

#### **(2) 「コミュニティの創造性を高め、変化を促すスペースを作る」**

○発言者：Ms. Pru Robey (「Artscape」副代表)

「Artscape」はカナダのトロントとバンクーバーに拠点を置いて活動している。1986年の創設以来、私たちは、芸術家たちにとって創造的な場を提供してきた。芸術家どうしの交流の場、多目的の創造的なスペース、芸術家による実演場など、10ヵ所の文化施設を提供している。こうした施設において116団体、2,300人以上の芸術家が活動してい

る。毎年、32カ所の開催地で、展示や実演が行われ、24万7000人もの人々が参加した。こうして私たちは、コミュニティの中に何百万ドルもの経済効果を生み出している。

### **(3) 「Collectif Curry Vavart」**

○発言者：Mr. Vincent Prieur「Collectif Curry Vavart」代表

フランスのパリには、若手のデザイナーやその協会が手頃な価格で使用できる場が不足している。より良い環境を提供するのが「Collectif Curry Vavart」の役割である。そのために、一時的に使用されていない施設を利用している。パリの不動産は不足しており高額なため、「Collectif Curry Vavart」は当初、何年も利用されていない産業施設を無許可で占拠し、使用していた。ただしこうした活動には、法的対応が付きものだった。

そこで、多数のパートナーが理事会に参加した2011年が転機となった。現在は、所有者との合意に基づき、施設が再利用されるまでの間、利用できる2つの場所が確保されている。

### **(4) 「芸術家とその団体を育成するため、手頃な価格で場を提供する「Artspace」の使命」**

○発言者：Mrs. Teri Deaver（NPO「Artspace」副代表）

アメリカ・ロサンゼルスで活動する「Artspace」の目的は、あらゆる分野と経済状況に置かれた芸術家とその団体を支援するために、場の提供やコンサルティングを行うことである。この場を通じて「Artspace」は、芸術家を専門的かつ継続的に支援するとともに、彼らが活動するコミュニティ文化的、経済的活性化を促進している。

### **(5) 「フィンランド・アーティスト・スタジオ財団」**

○発言者：Mrs. Riikka Suomi-Chande（フィンランド・アーティストスタジオ財団コーディネーター）

「フィンランド芸術家協会」の不動産事業を引き継ぐため、1990年に「フィンランド・アーティスト・スタジオ財団」が設立された。「フィンランド・アーティスト・スタジオ財団」の目的は、手頃な価格で芸術家に作業場を貸し出し、作業環境の改善に努めている。

### **(6) 「Chashama」**

○発言者：Mrs. Anita Durst（NPO「Chashama」事務局長）

アメリカ・ニューヨークで活動する「Chashama」は、不動産の所有者と提携して、不使用の施設を芸術家に提供している。1995年の設立以来、80を超える施設を活用して、12,000人以上の芸術家に作業場を提供してきた。さらに年間、130回を超えるイベントを、ニューヨーク市のいたる所で開催している。

### **(7) 「LaVallee」**

○発言者：Mr. Pierre Pevee（NPO「LaVallee」コーディネーター）

ベルギーの「LaVallee」は、様々な関係者と専門家を結集することによって、アイデアを競ったり、技術や専門的知識、道具類を共有したり、共同作業の機会を提供することを目的としている。協同作業、人間的価値、参加、それがこのプロジェクトの核心にある。

**(8) ワークショップ開催の仲介組織「Ateliers creatifs Montreal」**

○発言者：Mr. Gilles Renaud（「Ateliers creatifs Montreal」最高経営責任者）

本来、芸術家は小さな規模ではあるが、都市の活性化に大きく寄与している。ところが、彼らの存在は今日、ますます弱まっており、それは特に都市部で顕著な現象である。そこで、非営利的な不動産開発業者とも呼べる、「Ateliers creatif Montreal」のビジョンとビジネスモデルは公的機関と民間企業とが提携して、地域活性化のために、芸術家たちに作業や展示の場を提供することにある。